

～敬老者のご長寿を祝う鞆田地区敬老会開催！～

9 月 29 日（日）、鞆田地区敬老会を旧鞆田小学校体育館で開催しました。

今年の対象者は 306 名で、その内 123 名の方々にご参加いただくことができました。まず、物故者様への黙祷の後、主催者の西田鞆田自治協議会長のあいさつ、そして来賓の方々から祝辞をいただきました。

午前のアトラクションは、阿山小学校に通う鞆田地区の子供達の歌のプレゼントがあり、いつもながら元気な子供たちの合唱を敬老者の皆様は楽しくご覧いただきました。

午後からは「ハッピーフレンズオーケストラ」の皆さによる演奏で始まりました。吹奏楽や管楽アンサンブルなどで活躍されていた音楽好きの方が集まったバンドで、服部良一メドレーや美空ひばりメドレーなど懐かしい曲の演奏と 2 人の女性の息の合った歌を披露いただき、今まさに演奏会に行ったような迫力のある演奏に敬老者の皆さんは魅了されているようでした。その後は「エプロンリンガーズ」の皆さんによるハンドベルとあまり馴染みのないスクリーン紙芝居を興味津々とお楽しみいただきました。

敬老者の皆様、いつまでもお元気で長生きしてください。



自治協議会 部会活動の状況

民生・福祉部会

～地域福祉学習講座（ワークショップ）の開催～

10月4日（金）、韮田地区市民センターで伊賀市社会福祉協議会のご協力のもと、本年度第2回目の地域福祉学習講座（23名参加）を開催しました。

近年社会問題となっている「少子高齢化」「人口減少」「地域の担い手不足」等から、地域が取り組むべき課題の認識と解決を図るために、ワークショップ（助け合い体験ゲーム）を通じて、自分や参加した人たちの「できること」「してほしいこと」を出し合うことで、気づかなかった能力やニーズに気づくことや「助けて」と言えることの大切さ、難しさを体験しました。

これからは安心して暮らしていける地域とするために「お互い様」の気持ちで支え合えることの大切さについて、参加者に理解を深めていただきました。



～手つなぎサロン会の開催～

11月7日（木）、韮田地区市民センターで、地域の民生委員の皆様にご協力いただきながら、80歳以上の方々を対象（38名参加）に手つなぎサロン会を開催しました。

ともだ保育所園児（17名）の皆さんとの交流で、「すてきな笑顔」と「元気」をいただきました。ありがとうございました。

また、笹野ユキオ（伊賀アーティストバンク個人アーティストに登録）さんから、昭和歌謡をギターの弾き語りで、皆さんご存じの曲を心地よいギターの生の音色と懐かしいメロディーとともに楽しんでいただきました。

サロン会では、普段お出会いする機会の少ない他地域の方々との出会いの場、交流の場、楽しい仲間づくりの場として楽しんでいただきました。

皆様、どうかこれからもお体をお大事にさせていただきますことを願っております。



防災・環境部会

～韮田地区防災訓練の実施～

11月17日（日）、韮田地区市民センターにおいて、各地区から男女59名の方々に参加いただき、「韮田地区防災訓練」を行いました。訓練では始めに避難訓練として、各地区からの参加者を避難者と想定し参集訓練を行いました。その後、市総合危機管理課職員さんを講師に迎え「災害に強い地域づくりを目指して」と題して、風水害での備えや災害に

強い地域づくりについて「防災講話」を開催しました。特に最近発生した集中豪雨や台風による多大な被害を教訓として避難情報等の情報収集、命を守る行動が重要であると説明いただきました。また、昨年度作成された急傾斜地や土石流の土砂災害警戒区域、特別警戒区域（※1）が靱田地域のどの範囲で、どう影響するのかを非常時に備え住民は確認すべきとのことでした。



その後、市消防本部東消防署阿山分署の消防職員や地域の消防団員さんの指導によりAEDを活用した応急手当訓練を実施しました。毎年のように防災訓練ではAEDの使用手順について訓練を実施していますが、訓練参加者が一人でも多く地域におられることが地域安全の要であると思います。今後の災害に備え非常時に慌てることなく、的確に行動ができる各地区のリーダーが育成されることを望んでいます。

（※1）靱田地区市民センターに急傾斜地や土石流の土砂災害警戒区域、特別警戒区域の閲覧資料がありますので、警戒区域を詳細に確認したい場合は、お申し出の上、閲覧してください。

教育・文化部会

～2019年ウォーキング（熊野古道を散策）～

11月2日（土）、阿山地域体育協会主催、靱田自治協議会・河合地域住民自治協議会共催のウォーキングが熊野古道伊勢路、松本峠道を会場として開催され42名が参加し、靱田地区からは17名の参加がありました。

昨年の熊野古道の馬越峠（まごせとうげ）に続いて、今年は、松本峠道の4.1キロを雲一つない秋空の下、心地よい汗をかきながら江戸の石畳、明治の石畳を語り部さんの案内で歩きました。とりわけ、ルート途中の東屋からの眺望が素晴らしく、約25kmも続く七里御浜と山並みを一望できました。苔むした石畳の道を自分のペースで約2時間のウォーキングを楽しみ、熊野市内に到着しました。



その後、観光バスで移動し、道の駅「熊野・花の窟（いわや）」に立ち寄り、七里御浜海岸でおにぎりを食べたり、世界遺産「花の窟」を訪ねたり、思い思いに散策を行いました。

日頃から歩くことが、健康寿命を延ばすことにつながります。健康に大いに関心を向けて頂き、地域で開催されるウォーキングにご参加頂きたいと思います。

女性部会

～これまでに取り組んだ活動状況～

女性が自分らしく地域で活躍できる居心地のよい郷づくりを目指して、今年度から活動を始めました。

今年度の事業として先進的な事例から学ぼうと、ヨモギを使ったコミュニティビジネスに取り組まれている島ヶ原地域などの視察を行い、また、高齢者から子供まで皆が気軽に立ち寄れる地域の憩いの場づくりに取り組まれている玉滝、丸柱地域の自治協議会の方々と交流会を行いました。交流会での意見交換の中で成功のポイントや運営上の課題を知ることができ、今後の活動の参考になりました。

一方、地域での取り組みとして各地区へ出向く出前形式の転倒予防教室「ともだかざぐるま」を3回実施しました。1回目の10月15日（火）、靱田地区市民センターで33名、2回目は10月29日（火）、下友田多目的集会施設で23名、3回目は11月19日（火）、西湯舟生活改善センターで17名の方々に参加いただきました。会場で指導いただいた転倒予防は簡単な動作ですが、少しの時間でも毎日習慣づけると健康や脳の活性化につながるそうです。

これからも地域での人との関り、つながりを広げる環境づくりを目指して「ともだかざぐるま」という活動を続けていきたいと思います。皆さん気軽にご参加ください。お待ちしております。



「けんずいまつり2019」で大鍋料理を提供！

11月3日（日・祝）、阿山地区唯一の大型イベント、「けんずいまつり」は各構成団体が協働のもと阿山B&G海洋センター駐車場で開催されました。毎年、多くの来場者で賑わい、ステージで披露される各団体のアトラクションやステージを囲む食のエリアでは各出店者が提供する多くの食べ物、食材などは来場者の楽しみの一つとなっています。

このほか丸柱地域が担当の「ふるまい餅」は、無料で提供され行列は当たり前前の光景で、いっつもながら盛況でした。また、丸柱地域を除く各地域が持ち回りで提供している恒例の「大鍋料理」は地域毎に考案し今回の担当は靱田地域で、食の魅力を地産地消の面から地場産の材料を使った料理として、前回も好評であった「靱田在来大豆入り白玉団子の豚ずい鍋」を、前日の下準備、当日の調理まで各字からご協力いただきましたスタッフの皆さんが、「おもてなしの心」で多くの来場者に提供することができました。

ご協力をいただいた「おむすびの会」の皆さんや毎回ご協力いただいています皆さん、本当にありがとうございました。

